※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和５年度　（学）生命科学

教科	(学)生命科学	科目	(学)カイロプラクティック	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

カイロプラクティックはアメリカで生まれた体調を整える技法です。関節・筋肉・神経系の働きを改善させることで、日常生活から来る障害や、スポーツから来る障害に対する処置を行います。体調を整えるとともに身体構造を学ぶこともできます。

２　学習の到達目標

・日常生活からくる障害及び、スポーツ障害の予防と回復に役立つようなカイロプラクティックの基礎知識（基礎解剖学・基礎施術法）を身につける。
・具体的な症例に対してカイロプラクティックのどの技法が効果的なのかを思考し、判断する力を身につける。
・カイロプラクティックのはたらきをあらゆる視点で捉え、自ら意欲的に活用しようとする態度や身体構造を学ぶ姿勢を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・日常的な障害や、スポーツ障害の課題についての理解を深めるともに、世界についての知識を身に付け、自分が世界に向けて何かを行うための技能を身に付けている。	・障害の状況を把握し、状況に応じて、適切な技法を用いる判断をすることができる。	・カイロプラクティックを通じて身体の構造について積極的に学ぶ態度を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1学期</td><td>オリエンテーション</td><td>授業の進め方・用具の準備

カイロの歴史・全身区分</td><td rowspan="8">a:カイロプラクティックの基本を身につけ、簡単な障害への対処をすることができる。

b: 障害の状況を自らの知識で思考し、どの技法を用いるかを判断している。

c: 積極的に身体構造とカイロプラクティックの技法を身につけようとしている。</td><td rowspan="8">ワークシート</td><td rowspan="8">ワークシート

レポート</td><td rowspan="8">ワークシート

レポート

行動観察</td></tr>
<tr><td>実技Ⅰ 操体法①</td><td>腰・肩・首ストレッチ</td></tr>
<tr><td>実技Ⅱ 各反復テスト</td><td>下腿の筋肉と骨・臓器の名称
頚椎・腰椎・胸椎反復テスト
上肢の筋肉と骨の名称</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2学期</td><td>実技Ⅲ 肩こり</td><td>下肢の筋肉と骨の名称
フェイサースタンス</td></tr>
<tr><td>実技Ⅳ 腰痛</td><td>腰椎伸展</td></tr>
<tr><td>実技Ⅴ AS腸骨</td><td>上前腸骨の調整</td></tr>
<tr><td>3学期</td><td>実技Ⅵ PI腸骨</td><td>上後腸骨棘の調整</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度